

# 再配信

## 発達障害の子どもにみられる不登校

講師：信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室  
附属病院子どものこころ診療部



### 本田秀夫 氏

この配信動画の内容は、令和2年9月8日から14日まで配信されたものです。  
字幕を付け再配信いたします。

- ※ 一部、画像等が乱れる部分がございます。
- ※ 視聴に際しては、イヤホン等の使用を推奨いたします。
- ※ 本研修の録画・録音・撮影、および資料の二次利用、詳細内容のSNSへの投稿は、固くお断りいたします。これらの行為が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処させていただく場合がございます。

# 発達障害の子どもにみられる不登校

信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室  
附属病院子どものこころ診療部

本田秀夫

(公財)明治安田こころの健康財団・  
埼玉県共催

# 発達障害とは？

- 行動特性になんらかの特記すべき異常がある
- その異常は乳幼児期からみられ，成人後も残る
- その異常が要因となって，生活に支障をきたす

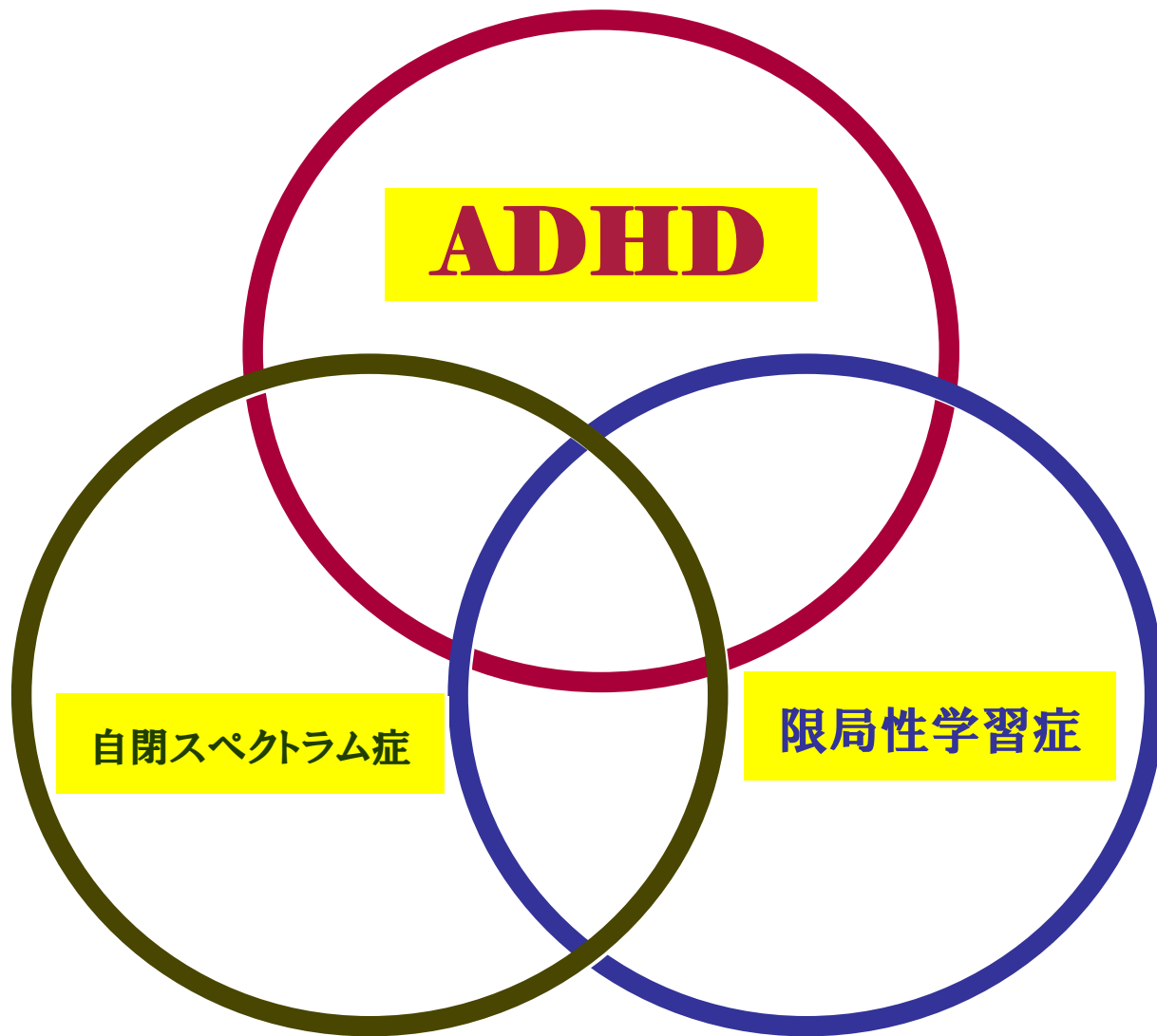


# 発達の「異常」とは？

発達が

正常でない・・・間違い 悪い

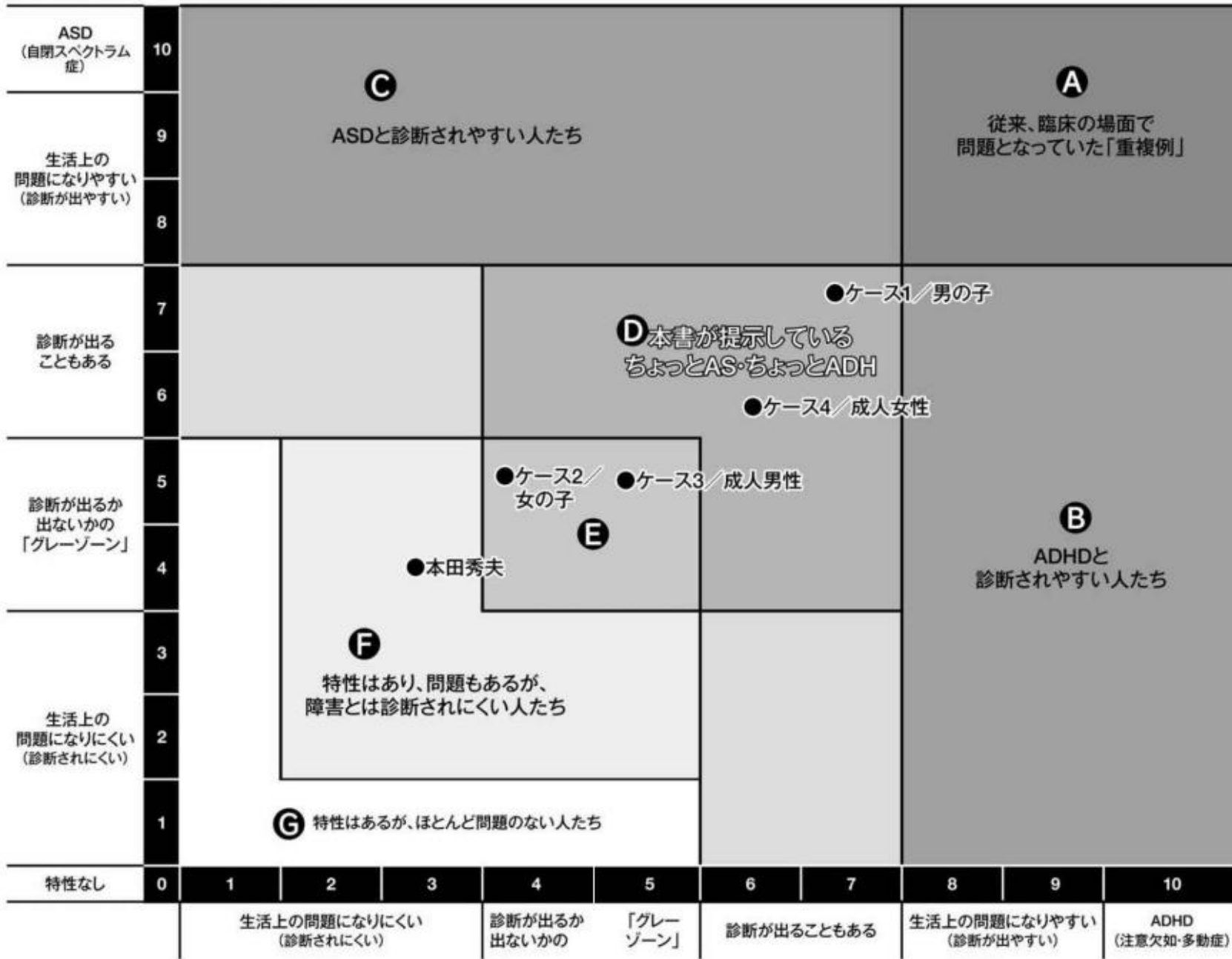
通常でない・・・少数派



**発達障害は、しばしば重複する**

(公財) 明治安田こころの健康財団・  
埼玉県共催

# ASとADHの強弱と重複のイメージ



**発達障害**  
生きづらさを抱える少数派の「種族」たち  
本田秀夫

**大反響**  
病気になるよりも、また少数派にならずに生きよう

# 自閉スペクトラム症(ASD)の特性の一部は、 他の発達障害の併存で目立ちにくくなる

## 注意欠如・多動症(ADHD)の併存

固執傾向が弱くなる

## 限局性学習症(SLD)の併存

読字が得意でなくなる

## 発達性協調運動症(DCD)の併存

作業能力が得意でなくなる

# 小児期から成人期にかけての 発達障害特性の変化

- 就学後に知能が大幅に上昇する症例は稀である
- 自閉スペクトラム (AS) の対人行動の質的異常は、軽減するがゼロにはならない
- ASの興味の限局やこだわり行動 (RRB) は、形態や様式を変えながら持続する
- 注意欠如・多動 (ADH) の多動・衝動性は、軽減するがゼロにはならない
- ADHの不注意症状は、幼児期・学齢期より青年期・成人期の方が問題となりやすい



グレーとは

白ではなくて

薄い黒

本田秀夫

(56歳・男性／長野県)

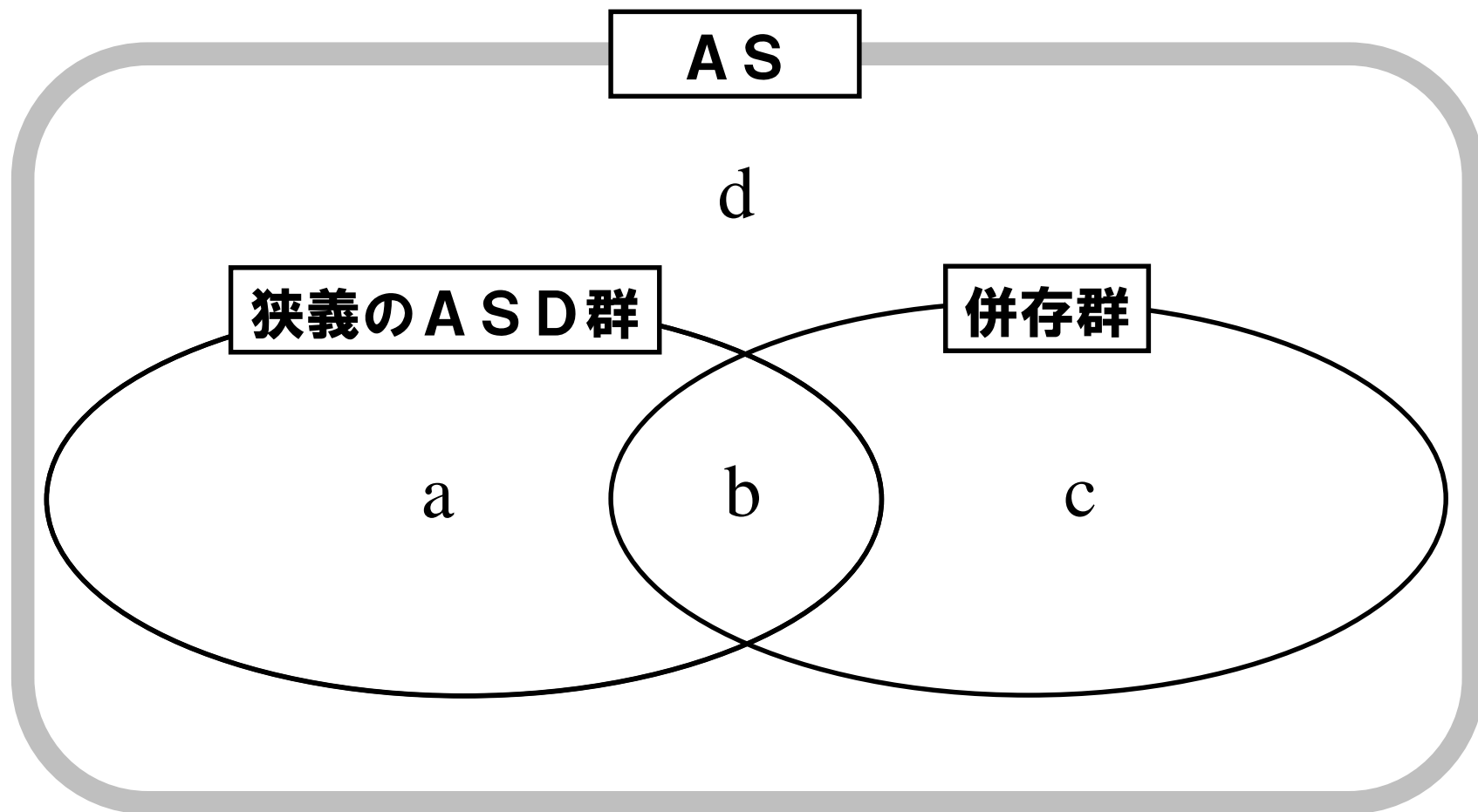
# 非障害自閉スペクトラム

(Autism Spectrum Without Disorder; ASWD)

ASの症状は残存している

しかし、社会適応は悪くない

むしろ適応の良好な例も少なくない



**図1 自閉スペクトラム(AS)と自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害(ASD)との関係**

「狭義のASD群」と「併存群」の和集合(a+b+c)が「広義のASD群」、それ以外(d)が障害のないAS(ASWD)となる。

(本田, 精神科治療学 27(5):565-570, 2012)

# 発達特性と育ち方

- 発達特性は生まれつきであり，育て方が原因ではない
- でも，成人期までにどう育つかは，育て方次第

# 育ち方の4タイプ

- 特性特異的教育タイプ
- 放任タイプ
- 過剰訓練タイプ
- 自主性過尊重タイプ

# 特性特異的教育タイプ

- 個々の発達特性に応じて必要な課題
- 本人が興味をもって取り組める手法
- 少しの努力で短期間に達成可能な目標設定
- 他者に気軽に相談できる環境の提供

# 放任タイプ

- **発達特性に対する理解が全く得られない環境**
  - 通常の子育て・教育環境
  - 子どもがネグレクトされている環境
- **場当たりの対応になりがち**
- **さまざまな形で頻繁に周困と軋轢**

# 過剰訓練タイプ

- 発達特性を周囲が否定
- 苦手領域の克服のため、本人に過重な課題を与える
- 本人が好きなきことや得意なきことは認めない



# 自主性過尊重タイプ

- 支援者が本人のストレス軽減だけを重視
- 何の教示もせずすべて本人の意志にまかせる
- 学校の成績が優秀なケースなどに多い

# COVID-19流行への対応としての一斉休校

- 3月2日 国会で一時休校要請  
ほとんどの学校が、休校のまま3学期終了
- 4月初頭 入学式および1～2日の授業
- 4月7日 緊急事態宣言(7都府県)  
再度、一斉休校
- 4月17日 緊急事態宣言の全国拡大
- 5月14日 緊急事態宣言の解除(39県)
- 5月18日 長野県では、この週あたりから分散登校
- 5月25日 緊急事態宣言の解除(全国)

# 中国湖北省における調査

- 湖北省の小学2年生から6年生までの2330人(武漢845人, 黄石1485人)の生徒にウェブ調査
- 平均33.7日間, 自宅待機
- 抑うつ症状が403人(22.6%), 不安症状が337人(18.9%)
- 武漢の子どもの方が抑うつ症状のリスクが高かった
- COVID-19罹患を心配していない子どもの方が抑うつ症状のリスクが低かった
- 流行に楽観的でない子どもたちは, 抑うつ症状のリスクが高かった

# 子どものこころ診療部では・・・

状電話診療と薬局への処方箋のFAX対応も可



電話診療で対応したのは2.9%

感染予防が理由の予約キャンセルは3.9%

(2020年3月～5月の予約のべ790件中)

# COVID-19流行に関連して

## 少数ながら見られた子どもの変化

- 感染，汚染をことさらに気にしてしまう  
    外出を嫌がる，手洗い強迫などの増加
- 家で家族との衝突が増えた
- 中学3年生が，進路の不安を感じる

…でも実際のところ，うつや不安は少ない

# 再開後の子どもたちの様子

- 分散登校，短縮授業，オンライン授業がフィットする子どもたちがいた
- 現在，「元の木阿弥」状態
- 遅れの挽回を焦って精神的不調

# 休校中，再開後の子どもたち

通常，どんな状態だったかによって，

休校期間中の状態は異なる

# ASDの小中学生では、 登校拒否行動の出現割合が高い

	ASD (N=68)	定型発達 (N=127)	p値
小学生	11 (31.4%)	5 (6.8%)	0.001
中学生	18 (54.5%)	4 (7.4%)	0.000
計	29 (42.6%)	9 (7.1%)	0.000

(Munkhaugen EK et al, 2017)



# 学校に行きたくなくなる要因は？

学校側の視点 : 家庭に問題があるのではないか？

家族の視点 : 学校に問題があるのではないか？

# 不登校の最大の要因は 学校にあることの方が多い

学校が子どもにとって楽しい場所であれば、  
よほどのことがない限り学校に通いたいという  
意欲は保たれる

# 多くの子どもは、なぜ学校に行くのか？

## 積極的理由

授業が楽しい 部活が楽しい 友だちに会いたい

## 消極的理由

他にやることもない

## 危機的理由

行かないと自分の身が危ない

# 不適切な養育(マルトリートメント)など

身体的虐待

心理的虐待

ネグレクト

性的虐待

経済的虐待

過干渉

# 不適切な養育のリスクファクター

- 経済困難
- 家族間の不和
- 疾病
- 子どもの障害
- 子育ての不得手さ

(滝川一廣, 2017)

# 学校側の要因

## 準備状態

授業が楽しくない

授業以外の活動が楽しくない

対人関係がうまくいかない

## 引き金

どうしても出たくない授業がある

対人トラブルが発生した

# 不登校は、個人と環境のミスマッチの産物

ミスマッチは、運も伴うので完全には防げない

# 「登校しぶり」、楽観視は禁物

来てしまえば楽しそう。

では、

「帰宅しぶり」はありますか？



# 登校しぶり:視点のずれ

## 大人の視点

登校しぶりは、まだトラブルの起点  
子どもが努力すれば、行けるはず  
学校が何かを変える必要はない  
一番心配なことは、勉強の遅れ

## 子どもの視点

登校しぶりは、すでにトラブルの最終段階  
努力したけれど、もう限界  
自分が通えるよう、学校に配慮してほしい  
勉強の遅れは心配だが、つらくて勉強どころではない

# 発達心理学の進歩が招いた混乱

## 発達心理学の意義:

平均的な発達の実態がわかる

..... (統計的理解)

## 世間では:

すべての子を定型発達に沿わせようとする

..... (発達課題の「ノルマ化」)

# 近年の発達心理学からわかってきたこと

子どもの発達は、かなり多様性がある

いろいろな領域が同時に均等に伸びるわけではない

# 発達障害支援からみた義務教育の問題点

- 平均±1SDの教育システム  
知能の高い子どもと境界知能以下の子どもは、  
通常学級のカリキュラムになじまない
- 子ども自身による選択肢がほとんどない
- 社会的弱者の権利保障が不十分である

# 子どもへの親の願い，成人期の本人の気持ち

## 親によくみられる就学時の願い

定型発達の子どもたちが周りにたくさんいると、  
いい刺激を受けるのではないか。

## 成人期にしばしば聞かれる本人の気持ち

自分だけ他の人たちとは違うという感覚を毎日  
感じていた。

# 雑談

「12月23日からE353系が営業運転を始めるらしいよ」

「3編成で、1日に4往復だって」

「E351系は振り子式で乗り心地が悪かったから、廃車でもしょうがないかも」

「本当！何編成？」

「え、じゃあ、E351系はどうなるんだろう。踊り子号に回ったりするのかな？でももうだいぶ古いから、廃車になるかもね」

「E353系は空気ばね式車体傾斜装置の導入で振り子式に比べて自然な乗り心地らしいから、楽しみだね」

… 相互的で、内容もしっかり噛み合っている

# 雑談

「うちの子ったら、きのう宿題を忘れたのよ」

「うちの子も、いつも忘れ物ばかりよ」

「この間だって、先生が言ったことをなんにも聞かないで、ノートにも書いてないから、家で気をつけようと思っててもできないわ」

「うちの子の先生は、忘れ物チェック表というのを配ってるのよ。毎日それを見れば忘れ物しなくてすむはずなんだけど、うちの子はそれも忘れるもんだから、困っちゃう」

「あっ、もうこんな時間だからいかなくちゃ。じゃあ、またね」

「うん、じゃあね！」

… 形式は相互的、でも互いに自分のことしか話していない

# コミュニケーションの目的

## 非自閉スペクトラム的コミュニケーション

コミュニケーションをとること自体が主たる目的  
会話を維持するために話題を仕入れることもある

## 自閉スペクトラム的コミュニケーション

情報を交換することが目的  
興味のない話題では、会話の必然性がない

→ **正常と病気ではなく、スタイルが多数か少数かの問題**



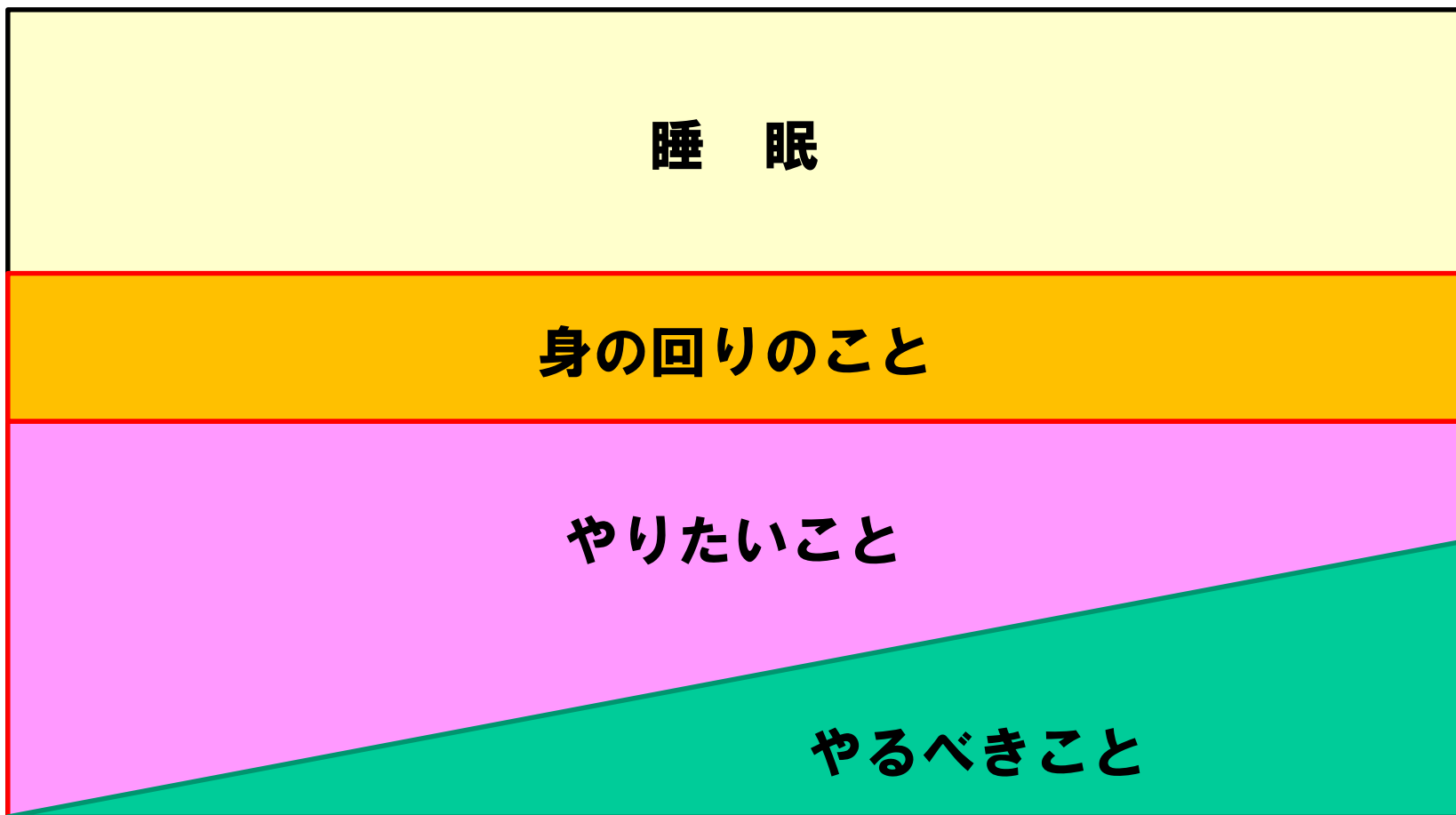
# 選好性( preference )の違い

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
岩尾	6	5	9	3	10	3	5	8	49
後藤	5	4	8	7	11	7	6	9	57
又吉	12	4	5	3	8	6	10	7	55
綾部	11	12	5	4	8	5	9	9	63
原西	8	6	9	4	6	12	13	7	65
藤本	10	2	7	9	6	9	5	8	56



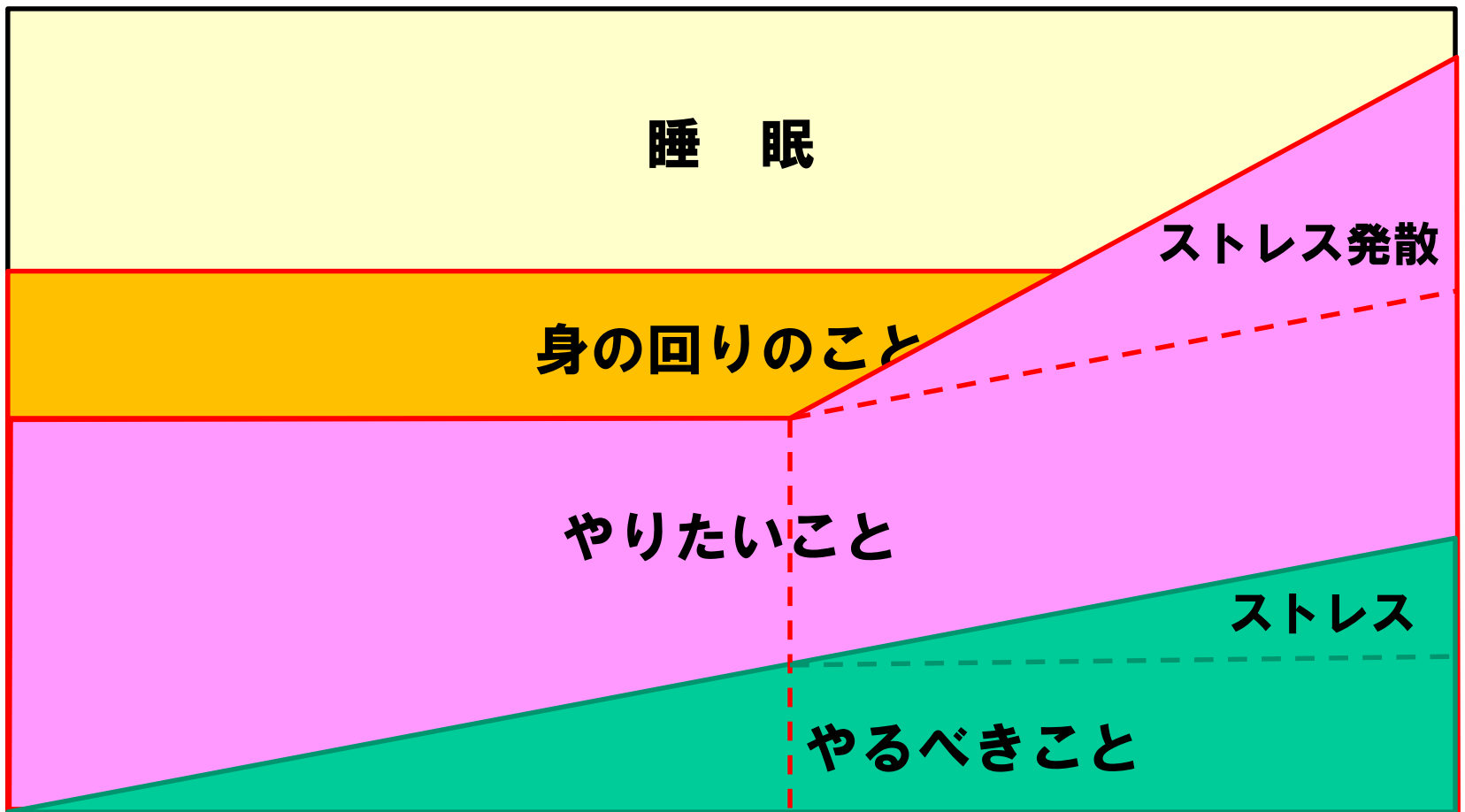
(公財)明治安田こころの健康財団・  
埼玉県共催

↑  
かける時間



やるべきこととやりたいことの時間の関係  
— 通常の人の場合 —

↑  
かける時間



やるべきこととやりたいことの時間の関係  
— 自閉スペクトラムの人の場合 —